

福しの学習で分かったこと

3年 二宮 純平

「ふだんのくらしをしあわせに」という考えを、ぼくは二学期のそう合てきな学習の時間に、福しについて学習してはじめて知りました。福しの「ふ」と「く」と「し」からの言葉です。この考えを実げんさせるために、社会福しきょうぎ会という所ではたらく人たちがいることも知りました。

福しの学習でぼくたちは、車いす体けんをしました。ぼくは、車いすを見たことはありましたが、乗ったことやおしたことはありませんでした。友だちとペアになって、だんさや坂道などのコースを車いすで進みました。はじめは、うまくできずに進まなかったり、ぶつかったりしました。ぼくは、おしながら相手に声をかけるのもむずかしかったです。でも、だんだんと上手になりました。車いすに乗って、バスケットゴールへシュートもしました。とてもむずかしかったです。車いすの体けんをして、他の人ときょう力することがひつようだということが分かりました。車いすに乗って生活している人の気持ちが少し分かりました。

次に、社会福しきょうぎ会の人にきょう力してもらって、地いきのお年よりとシャッフルゴルフをしました。5人の方がさんかしてくれました。はじめに、自こしょうかいをして、次に、シャッフルゴルフのせつ明をしてもらいました。そして、2グループに分かれて対決をしました。ぼくは、あまりうまくできなかったけれど、おばあちゃんがやさしく教えてくれました。おかげで、少しずつ上手になってよかったです。お年よりの方たちはなれていてとてもうまかったです。最後に、お話をしました。昔の学校のことや、食べ物のことなどを教えてもらいました。ぼくたちとは、ちがうことがたくさんありましたが、子どもの時に遊ぶことは同じでした。

この交流会が終わった後、ぼくたちは学級でお年よりと何かつながりができないか話し合いました。そのけっか、シャッフルゴルフをした人たちに、学びい会に来てもらうためあん内の手紙を出すことになりました。そして、また、社会福しきょうぎ会の人にきょう力で全員にとどけてもらいました。すると、本番の学びい会では、自分たちのおじいちゃん、おばあちゃんではない、ぼくたちがしょうたいした地いきの人が何人か来られていました。その時に、話をすることはできなかったけれど、ぼくたちがしたげきを見て、楽しんでもらったのではないかと思います。

これからも、お年よりや車いすに乗って生活する人たちと、出会うことがあると思います。その時、もし相手がこまっていたら声をかける、手助けをするなどしたいです。また、地いきのお年よりの方とこれからも何かいっしょにしてかかわっていきたいです。そして、ぼくたち子どもが持っている元気パワーをいっぱい分けたいです。

どんどこ！ 巨大紙相撲 (1/17)

ぼくたちのチームが作った力士の名前は、「お腹がすいたら終わり山」です。何回も負けてしまったけれど、一回勝つことができました。しかも、優勝チームに勝ったのは、ぼくたちだけだったので、とてもうれしかったです。

【4年 中川 正直】



盲導犬小中学校キャラバン (1/21)

犬はにがてだけれど、アクアはハーネスをつけているとき、とてもまじめでした。ハーネスをはずすとマイペースになるアクアがすきになりました。これからは、もうどう犬をつれた人にも、できることをしたいです。

【2年 和氣 希来々】



なわとび集会 (1/23)

ぼくは、なわとび集会の練習中、必ず引っかかっていました。本番は、全部クリアすることができました。個人種目の「ゼロセン」は4回ぐらいしかとべなかったけれど、お母さんに見てもらってほめてもらったのでうれしかったです。

【5年 元井 裕一朗】



デカボえひめプロジェクト教室 (1/28)

今日は、地球温暖化について詳しく学びました。キャンプなどで使う着火ざいは、再利用したものでできることやペットボトルで洋服ができること、食べ物を買うときは手前から取るなど、様々なことを知りました。家族にも教えてあげたいです。

【6年 東堂 心咲】

